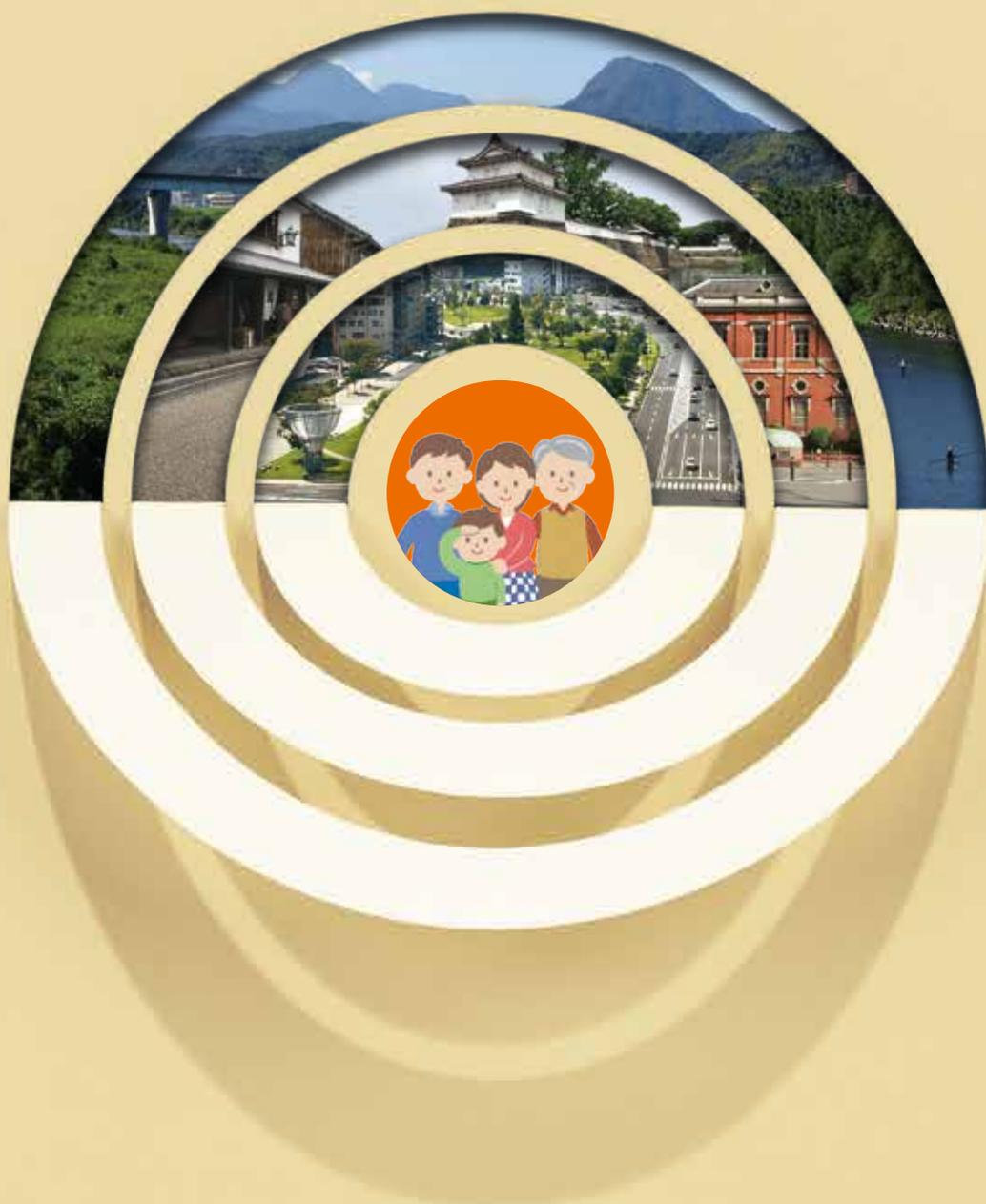


OITA CITY
LANDSCAPE
PLANNING

大分市 景観計画

自然、歴史、文化、暮らしが調和する
おおいたの豊かな「景観」を紡ぎ未来へ



大分市

Cover designed by Nenoki Eiji

はじめに



本市は、大分川、大野川が潤す大分平野を中心に、北は別府湾、残る三方は高崎山、鎧ヶ岳、霊山、九六位山などの山々に囲まれた豊かな自然を有し、古代から現代まで、東九州の要衝として政治、経済、文化の中心的な役割を担ってきました。また近代以降、鉄道・道路網・港湾等が整備され、新産業都市の指定による多くの企業の進出に伴い、産業や人々の生活による土地利用もなされています。

このように本市の景観は豊かな自然や歴史的な歩み、土地利用により形成されており、また地域ごとに特色ある様々な景観を有しております。

2004（平成16）年の景観法制定により景観行政団体となった本市は、2006（平成18）年9月に景観計画を策定し、これまで城址公園周辺地区や西大分港周辺地区の景観地区指定をはじめ、大分駅南地区などの個別の景観誘導により、良好な景観形成を進めてまいりました。

こうした中、計画策定から10年以上が経過し、本市を取り巻く状況の変化や新たな課題へ対応するとともに、地域ごとの特色ある景観形成をより推進・保全していくため、この度「大分市景観計画」を改定いたしました。本計画の改定にあたりましては、本市の景観に関する市民の皆様や事業者の皆様の意識調査、本市の景観特性の分析、調査、課題の整理を行う中で、本市の良好な景観形成に向けた施策を盛り込んだところであります。

今後は、本計画に基づき景観は大分市民すべての「共有財産」であるとの認識のもと、地域の特色ある景観について、「考える」、「まもる・つくる」、「はぐくむ」の観点から、市民、事業者の皆様と協力しながら良好な景観形成に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました大分市景観審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本市の良好な景観形成の推進・保全に向け、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020（令和2）年6月

大分市長 佐藤 樹一郎

おおいたきれい 100 選より



今市石畳



大分いこいの道



亀塚古墳公園



明治大分水路橋



赤レンガ館



大分市平和市民公園



万年橋



大分市景観計画

大分市 都市計画部 まちなみ企画課

(令和2年6月 改定)